七不思儀葛飾譚

巻九篇上下

遠13
2686
9

へ13
2686
9
特

化物ハ宮根より西とゝくどゝも龜山のお化ハ觀音の名物。人膏藥の
ちうけを知らぬ。お獅子が小僧に変るを見るアラ怪しと白眼つけ。
雀大水ゆ入るく蛤とあり山出し妹ゞ嬌娘しゝて御内儀とあるより
神速あり。都て不測も種子ありて。五體の運動も眞宰と云神霊ゞ。
幽冥眼ふとゝそゝんえぬ天上くゝの糸操てまゝを自然と

理屈張るハ種を知らぬ貧惜しゝ唯あハりのハ戯作のさゝ。
毎度異らぬ古種ゑもゝど。七不思儀も早八九編こハ澤山ゑ手ゑとりのゝ。
愛顧のお力ゞ種彦がたゝひるゝあり

慶應三年春首新販　　丙寅閏暑

鶏冠木廂下書

田舂兒
多麿吉

如何娜姿の
行娘
在明

此両凶
八編まで出さう
猜一猜さえ
容易く
ちくまれん

百

つくや
火の用心

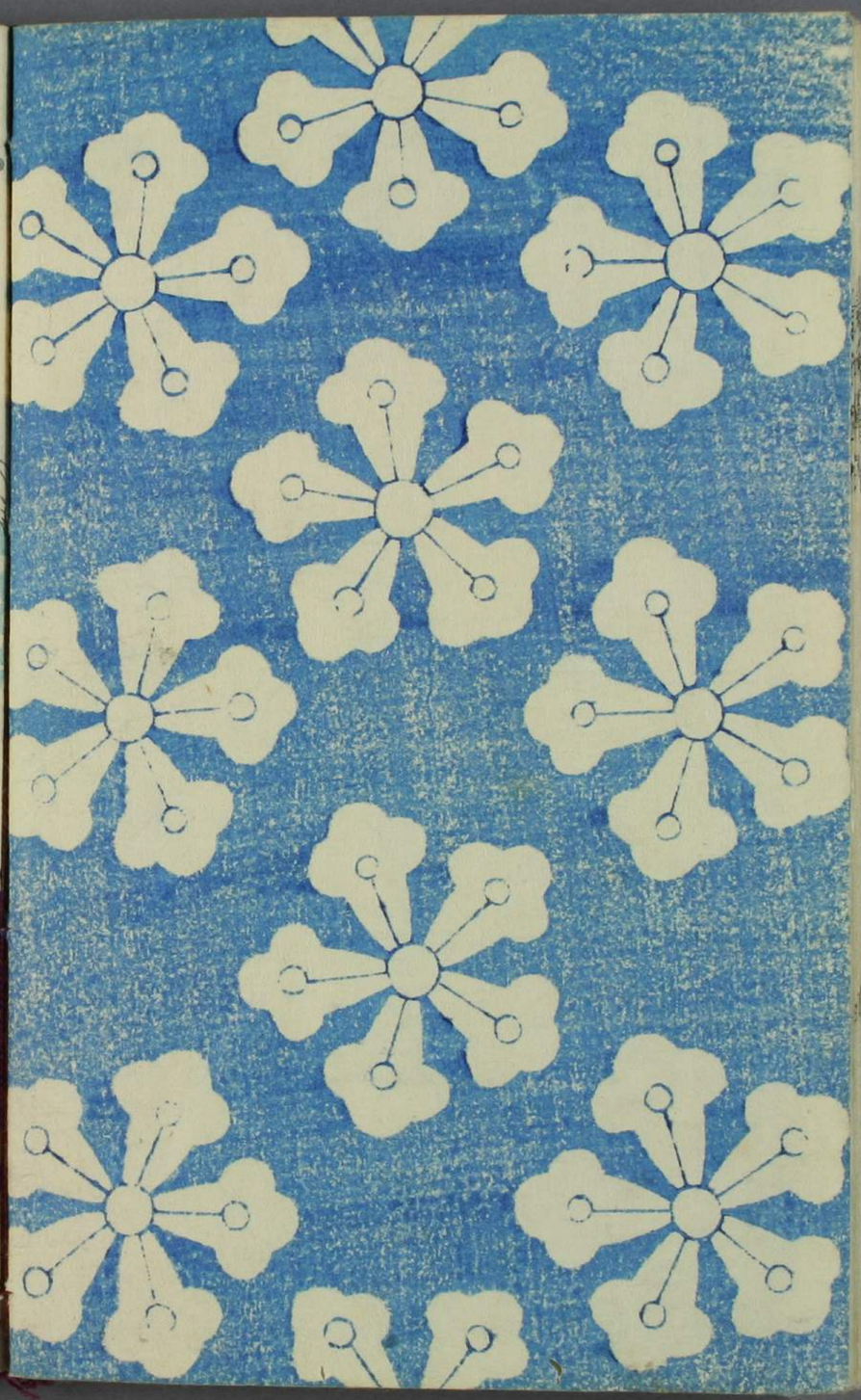
實母散

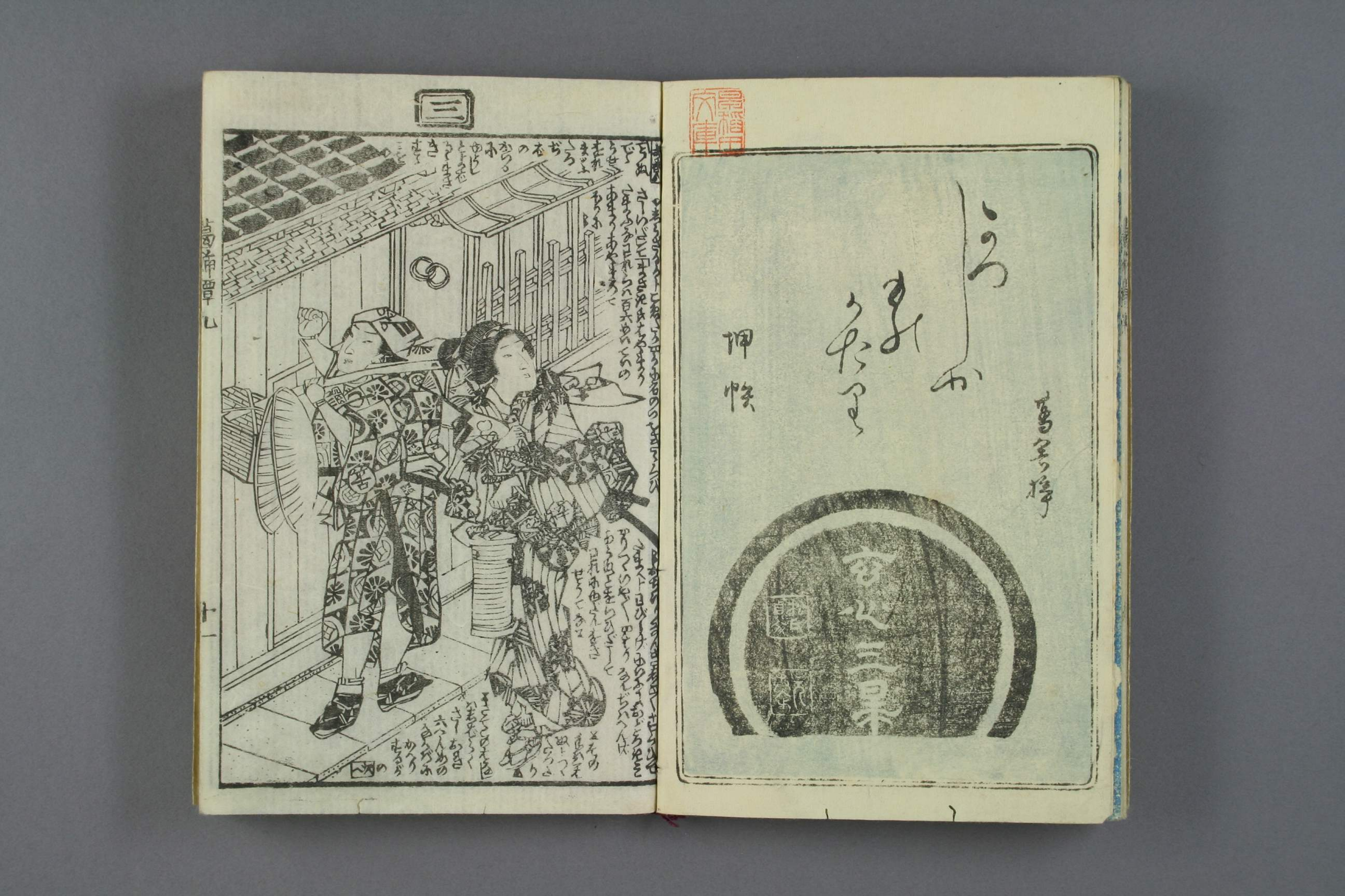
柳蔭月朝妻

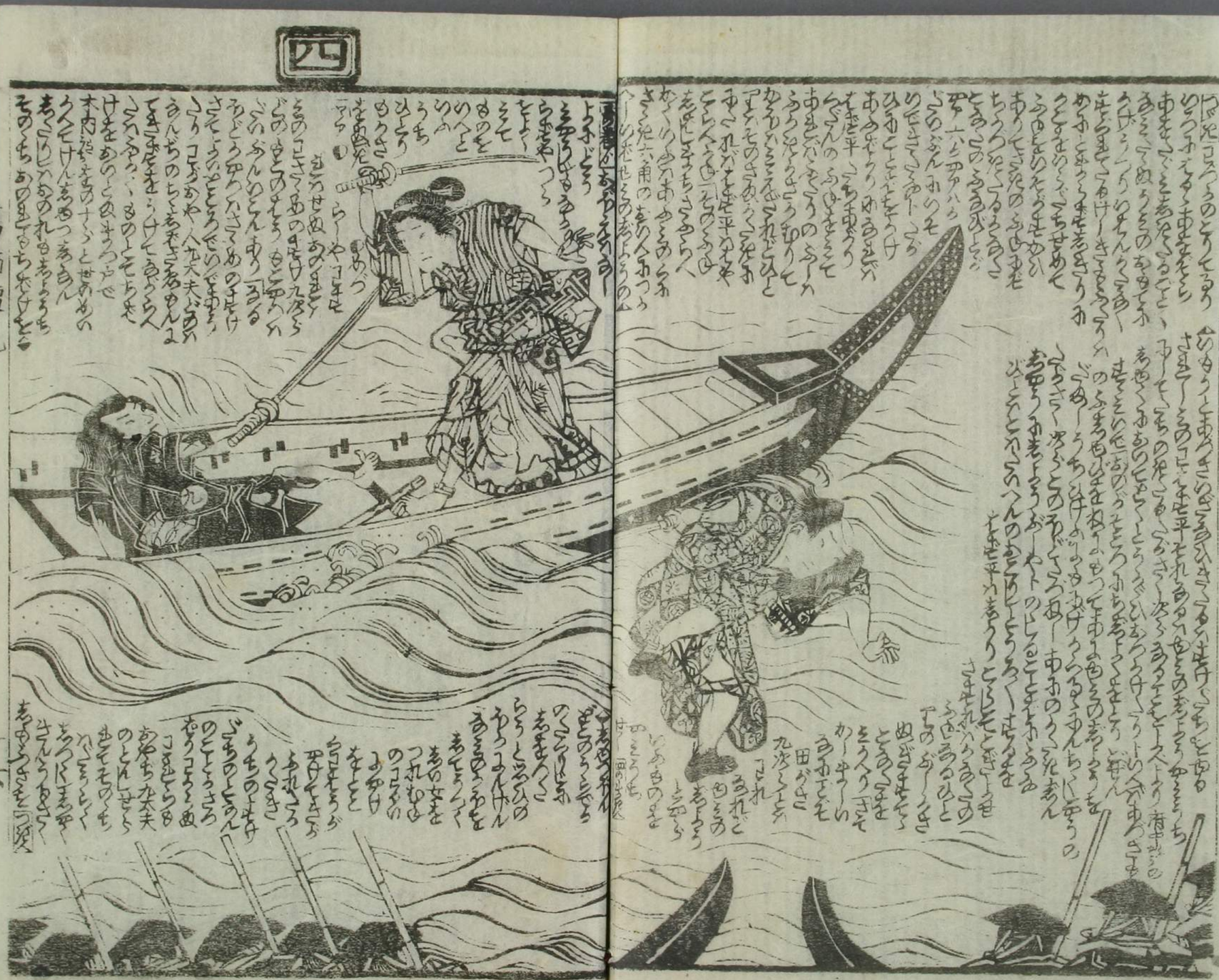
藪黄鶯八幡不知

山々亭有人作
梅朝樓國貞画

九編下




三
高市萬次郎
押帙



四谷の鮓

牛込網戸徳

梅鶯蝶樓國貞画

柳亭種彦著

版元 紅英堂 欽白

明治四年 東京 陽春閣 板標目

厚化粧高尚画 春水作 国貞画

室町源氏物語巻 種彦作 国貞画

鼠祠通夜譚 種彦作 国貞画

童謡妙々車 種彦作 国貞画

薄倖幼日記 春水作 国貞画

七福神宝船飾譚 種彦作 国貞画

新局九尾傳 春水作 国貞画

筆海四國聞書 種彦作 国貞画

明鳥堂画題稿 種彦作 国貞画

花封蕗五章 種彦作 国貞画

八犬傳大の双紙 柳亭作 国政画

東京馬喰町壱丁目 蔦屋吉蔵板